学校番号	2101

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「健康」についての理解を深め、自分自身の人生を豊かにする方法を学ぼう。身近な健康問題に興味を持ち、自分自身の人生設計に活かせる情報を常に得る努力をしてみよう。

2　学習の到達目標

・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について感心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
評価方法	受講態度の観察 ワークシート 等	受講態度の観察 定期テスト ワークシート 等	受講態度の観察 定期テスト ワークシート 等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
現代社会と健康	1. 私達の健康のすがた 2. 健康のとらえ方 3. 健康と意思決定・行動選択 4. 健康に関する環境づくり 5. 生活習慣病とその予防 6. 食事と健康 7. 運動と健康 8. 休養・睡眠と健康 9. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 11. 薬物乱用と健康	○	○	○	a自他の生命や立場を尊重する姿勢がある。 b冷静な意思決定・行動選択ができる。 c疾病の構造、起こりと予防法について理解を深めている。生活習慣と疾病の関わりについて理解できている。	受講態度の観察 定期テスト ワークシート
	12. 現代の感染症 13. 感染症の予防 14. 性感染症・エイズとその予防 15. 欲求と適応機制 16. 心身の相関とストレス 17. ストレスへの対処 18. 心の健康と自己実現 19. 交通事故の現状と要因 20. 交通社会における 　運転者の資質と責任 21. 安全な交通社会づくり 22. 応急手当の意義とその基本 23. 心配蘇生法 24. 日常的な応急手当	○	○	○	a生命を尊重する態度と責任感や安全に対する意識がある。 b安全を第一に正しく判断できている。 cさまざまな要因と感染症について理解できている。適応規制と心身症について理解できている。応急手当と心肺蘇生について理解を深めている。応急手当ができている。	受講態度の観察 定期テスト ワークシート

生涯を通じる健康	1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶 6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的取り組み	○	○	○	a異性を尊重する態度を養い、良好な人間関係を育む姿勢がある。 b自己の健康管理について、考えることができる。 c思春期における心身の発達について理解を深めている。健康な結婚生活について理解を深めている。加齢に伴う心身の変化について理解を深めている。	受講態度の観察 定期テスト ワークシート
社会生活と健康	8. 保健制度とその活用 9. 医療制度とその活用 10. 医薬品と健康 11. さまざまな保健活動や対策 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 3. 健康被害の防止と環境対策 4. 環境衛生活動のしくみと働き 5. 食品衛生活動のしくみと働き 6. 食品と環境の保健と私たち 7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活	○	○	○	aさまざまな保健活動に関心を持つことができる。 b自分自身や社会全体の心身の健康について考えようとすることができる。環境や労働と健康が関わっていることに気づき、防止策を考えようとすることができる。 cわが国の保健・医療制度について理解できている。医薬品の正しい使用法などについて理解できている。自然環境の汚染の原因とその健康影響のかかわりについて理解できている。食品の安全性について理解できている。	受講態度の観察 定期テスト ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:　知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。